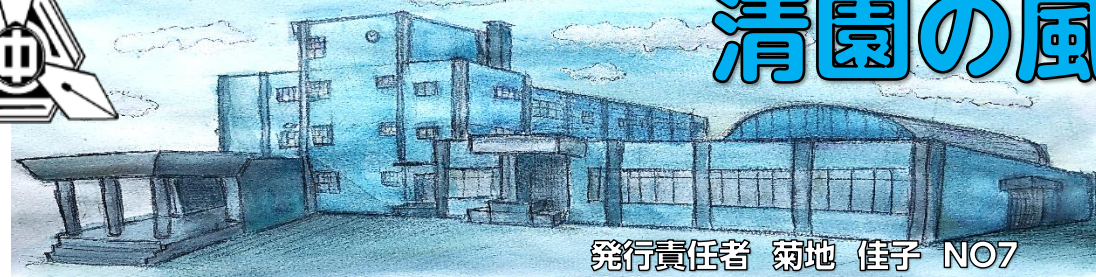


清園の風



発行責任者 菊地 佳子 NO7



清園中学校区 3校接続スローガン

～ 利他共生 ～

自分で決めた！挑戦できた！
と力強く言える学校・子ども

多様性について考える

校長 菊地 佳子

前期終業式では、「多様性」について生徒のみなさんにお話ししました。

金子みすゞさんの詩に「みんなちがって、みんないい」という言葉があります。これは、「人はそれぞれ違って、それが素晴らしいことなんだよ」という意味です。けれども、現実には「みんなと違う」「ちょっと変わっている」といった言葉で、からかったり仲間外れにしたりしてしまうことはありませんか？

「違う」ということは、決して悪いことではありません。むしろ、違うからこそ助け合えるし、学び合えるのです。

「多様性(ダイバーシティ)」という言葉を知っていますか？これは、性別、国籍、年齢、見た目、考え方、好きなものなど、さまざまな違いを認め合うことです。たとえば、運動が得意な人もいれば、絵が得意な人もいます。静かな人もいれば、にぎやかな人もいます。

それぞれが違うからこそ、クラスは楽しく、豊かになるのです。



人の違いを受け入れるには、まず「自分を知ること」が大切です。自分の考え方や感じ方を知ることで、相手のことも理解しやすくなります。そして、違うからといってすぐに否定せず、「どうしてそう思うのかな？」と考えてみてください。

その一歩が、優しさであり、思いやりです。

多様性を認めることは、いじめや差別をなくすだけでなく、世界の争いを減らすことにもつながります。「違うからこそ、面白い」「違うからこそ、学べる」そんな考え方が広がれば、もっと優しい社会になります。

みなさんには、ぜひ「違いを認める力」を育ててほしいと思います。クラスの中で、学校生活の中で、誰かが困っていたら、そっと声をかけてみてください。そして、自分自身のこと大切にしてください。

「みんなちがって、みんないい」——この言葉を、みなさんの行動で表してくれることを、心から願っています。

最近、全道各地の校長先生方とお話する機会がありました。そこでよく聞くのは、さまざまな国からの転入生が増えてきているということです。通訳機が学校に1台しかない場合、複数の外国人転入生への対応が難しいという声もありました。多言語に対応できれば理想ですが、現実には簡単なことではありません。これからの時代、さまざまな状況を想定し、備えていく必要性を感じています。

前期終業式の日、私はネクタイを締め、パンツスーツ姿で生徒の前に立ちました。この服装は私にとって心地よく、ネクタイをすると気が引き締まる思いがします。好きな服、着やすい服を選ぶことは、悪いことでも恥ずかしいことでもありません。そんな思いを込めた一つの表現でした。生徒のみなさんにはその意図が伝わったようで、違和感もなかったように感じました。



その瞬間、子どもたちは大人よりも柔軟に物事を受け止める力があるのだと、改めて気づかされました。

「違う」ということに対して否定や排除の気持ちを持ってしまうと、今の社会はとても生きづらくなってしまいます。だからこそ、学校としても、多様性を認め合える環境づくりが大切なのです。

これからも、みなさんと一緒に、そんな学校をつくっていきたいと思います。

令和7年度 前期生徒アンケート集計結果

学校としての重要項目

- 「楽しく学校に通えた」と答える生徒の割合**93%**
- 「学校行事や学級活動、学習の進め方など、やることを自分で決めていますか。」**92.2%**
- 「自分が決めたことに挑戦し、最後まであきらめずにやり続けることができますか。」**82.6%**

経年変化を見取っている項目

	R4	R5	R6	R7
規則正しい生活が送れている	68.6	81.7	81.6	80.0
スマホの使い方で決まりを守っている (家庭・市のガイドライン)	62.7	78.3	81.6	77.4
家庭学習を1日1時間以上行っている	46.6	46.6	49.6	43.4
自分には良いところがある	66.1	71.6	77.3	74.8
将来の夢がある	55.7	59.2	57.4	62.7

家庭学習の時間が1時間に満たない生徒が半数以上という現状です。ご家庭でも学習時間についてお子様とご相談ください。

清園中学校をより良くするためのアイデア

1. 「全学年が交流できる活動を増やす」例: AB 対抗ドッジボール
2. ポロシャツを着れるようにする/許可
3. 休み時間と授業時間のメリハリをつける
4. 意味のわからない校則をなくす
5. 後期の楽しい行事が欲しい
6. 学ぶことの楽しさを知るために、もっと授業を面白くする必要がある
7. 趣味程度でできるスポーツの何かがあればいい
8. 何事も強制するんじゃなくて、まず考えさせて欲しい

清園中学校をより良くするためのアイデアなど多くの生徒の声を聞き取ることが出来ました。このアンケート結果を様々な改善に役立てていきたいと思っております。生徒の皆さんありがとうございます!!!

ガンバレ!!野口先生

本校体育科教諭の野口茜先生が所属するバレーボールチームのアルテミス北海道が今シーズンの開幕戦を迎えました!!

働きながら自分の特技と夢を磨き続ける野口先生をみんなで応援したいですね

2025-26 SEASON 全ホームゲーム観戦

北海道民無料招待!

2025-26 GAME SCHEDULE

10.25 13:00 10.26 13:00 11.01 15:00 11.02 14:00

11.08 18:00 11.09 12:00 11.22 15:00 11.23 14:00 11.29 15:00 11.30 13:00

12.27 15:00 12.28 12:00 01.10 15:00 01.11 13:00 01.17 15:00 01.18 12:00

01.24 15:00 01.25 13:00 02.07 15:00 02.08 13:00 02.14 15:00 02.15 13:00

02.21 15:00 02.22 14:00 03.07 15:00 03.08 13:00 03.14 15:00 03.15 13:00

「まもなく開幕戦!」 10.25 13:00 VS 02.22 14:00

「応援したい!」 02.07 15:00 02.08 13:00

「応援したい!」 03.07 15:00 03.08 13:00

「応援したい!」 03.14 15:00 03.15 13:00

学校生活で「楽しい」「嬉しい」と実感できるとき

1. 友人との交流・居場所 **58.5%**
「友達と話している時」「友達と協力して、何かをしているとき」
2. 特別な行事・活動 **21.7%**
「学校祭や体育祭などの学校行事の活動をしているとき」「行事の準備など」
3. 学習・成長の実感 **16.0%**
「テストで良い点数を取った時」「わからない問題がわかるようになった時」「実技の授業で周りの人が褒めてくれるとき」「授業中に交流して友達と意見を言い合う時」
4. 他者との関係 **3.8%**
「人の手伝いをした時に『ありがとう』を言ってもらえたことです!!」「先生方が話しかけてくれる時」「友達に授業でアドバイスをもらった時」

授業中に、自分が「わかった」「できた」「もっと勉強してみよう」と思うのはどんな時ですか

1. 理解と達成 **67.3%**
「理解できた」「解けた」「頭の中でモヤモヤが消えた」
2. 課題と意欲 **24.0%**
「わからない」「惜しい間違い」「テストの点が悪かった」「課題が見つかった」
3. 外部要因・興味 **8.7%**
「先生・友達の説明で理解できた」「日常生活の事を取り入れた説明」

11月の行事予定

日	曜	校内行事
1	土	
2	日	
3	月	文化の日
4	火	生徒総会リハーサル
5	水	学活(1年・進路) 生徒総会
6	木	学力テスト(全学年) 諸活動停止日
7	金	職場体験発表会 性の教育(3年) 漢字検定①
8	土	
9	日	
10	月	柔道(1A・2B) 校内研修(指導案検討) 委員会⑨(定例)
11	火	
12	水	教育相談①(全校) 柔道(1A・2A)
13	木	教育相談②(全校) ふるさと学習発表会(1年)
14	金	教育相談③(全校) 柔道(1A・2B)
15	土	
16	日	
17	月	主権者教育議会訪問(3年) 分掌・学年部会 諸活動停止日

18	火	SMS小中接続ティーンゼニア 教育相談④(全校) 柔道(2A・2B)
19	水	企画委員会 教育相談⑤(全校)
20	木	柔道(2A・2B)
21	金	職員会議(12月・1月) 諸活動停止日 柔道(1A・2A) 開校記念日
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休業
25	火	生徒指導交流 諸活動停止日
26	水	全校総合発表会 PTA中間監査・四役会議④
27	木	校内研修⑥(授業研究) 指導主事訪問 諸活動停止日
28	金	学活(ピアサポート) SMS小中接続チーム会議
29	土	
30	日	